

市町村名	伊平屋村
------	------

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4 - コミュニティビジネス支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (7) - イ
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 9

事業内容	コミュニティビジネスの拠点施設としてさとうきび関連商品や野草、薬草等の加工、販売施設を整備する。					
------	--	--	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	24年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	24,603	-			
	(b)予算現額	53,892	-			
	(c)増減額(b-a)	29,289	-			
	(d)繰越額	-	49,007			
	A.計(b+d)	53,892	49,007			
	B.執行済額	4,885	0			
	うち交付金充当額	3,907	0			
	次年度繰越額	49,007	0			
	執行率(%) (B/A)	9.1%	0.0%			
予算の状況の説明	2面道路に面した本施設整備地において間口の方角や駐車場位置等、全体的な配置計画において住民より変更要望が上がったことから、既設上下排水位置との接続方法や建設用地の有効的な活用方策について見直しを行った結果、整備面積の確定に約5ヵ月を要し、実施設計の発注時期に遅れが生じた。また、工事で、施設配置の変更に伴う配水管及び下水管の延伸工事(一次側)が必要となり、上下水道管理者の施工後に接続工事(二次側)を行う必要が生じたことから、その分、工事期間を延長する必要が生じた。繰越分については、本村発注工事については市場単価の高騰により発注工事が軒並み入札不調となる中、本事業においても積算等の見直しにおいて、執行可能予算をオーバーし設計が組めない状況になった。その為村単費で不足分の調整を検討したが、別件建築工事等も同じような状況で、不足分の予算確保が困難となったため、建築工事について、次年度以降発注とした。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		加工施設整備工事	目標 (一式)	()	()
	実績	設計業務のみ			
達成状況説明	繰越分については、本村発注工事については市場単価の高騰により発注工事が軒並み入札不調となる中、本事業においても積算等の見直しにおいて、執行可能予算をオーバーし設計が組めない状況になった。その為村単費で不足分の調整を検討したが、別件建築工事等も同じような状況で、不足分の予算確保が困難となったため、建築工事について、次年度以降発注とした。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(30年度)	
		加工施設整備工事	目標 (0)	(一式)	(-)	(-)	(-)
		実績	設計業務のみ	-	-		
	[参考指標]	従業員雇用				(0)	(2名)
	[参考指標]	加工販売額				(0)	(5.1百万円)
進捗状況説明	平成24年度に地元説明及び施設設計を実施し、平成24年度繰越事業として平成25年度に施設整備を予定していたが、入札不調及び建築単価等の高騰により発注が行えず、平成25年度中の施設整備を断念した。施設の完成の遅れに伴い、地元住民や施設の管理予定団体との再調整が必要となっており、その調整に時間を要していることから施設の整備には至っていないが、平成30年度の目標として、サトウキビ関連商品6品目と薬膳料理の販売等で売上げ5,100千円と従業員(パート)2名の雇用を予定。今後は施設の早期整備完了に向け取り組むと共に、この施設を拠点とした地域の活性化と雇用の創出を促進したい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本村においては、建築工事において入札が不調となる事例が多く、また、他の事業で建築工事が多く発注されていることから、本事業の工事の発注が行えない状況にある。</p> <p>また、施設整備の遅れに伴い、施設の運営管理体制の見直しが必要となっているほか、施設の整備後に運営を担う人材の育成、施設の円滑な運営に向け、地域住民の理解や意識の向上に向けた取組が必要である。</p>	<p>工事積算の見直しを検討すると共に他事業との発注時期の調整を行うことで工事の早期発注につなげる必要がある。</p> <p>施設整備の準備と並行し、地域住民との対話を続け、地域コミュニティの強化を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

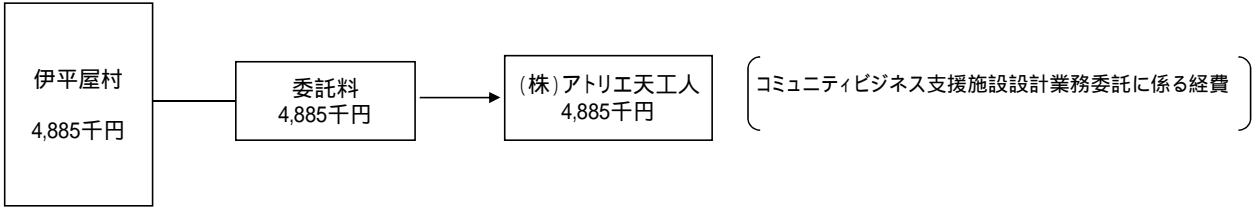
村内外での建設関係の情勢を注視し、発注時期の見極めを行い、施設の平成28年度中の整備に向け取り組む。

また、施設の完成後は本施設を中心として地域の方々が栽培した農産物や水産物、薬草などを活用した加工食品の開発を進め、施設内での食事メニューとしての提供や生鮮、加工食品の販売を行う。

これらの取組により地域の人材、特に老人の活用をすすめ地域活力の復活と自立の促進、雇用の創出を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
4,885	4,885	3,907	978	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>随意契約について この業務についてはバリアフリーやユニバーサルデザインへの対応や共同作業の指導、監督及び地域住民を含めた意思決定プロセスの構築や整備に係る行動計画の策定など、高度な専門知識と豊富な経験を必要とすることから一般建設コンサルタント等への委託は適合しないため。</p> <p>費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	x	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	